

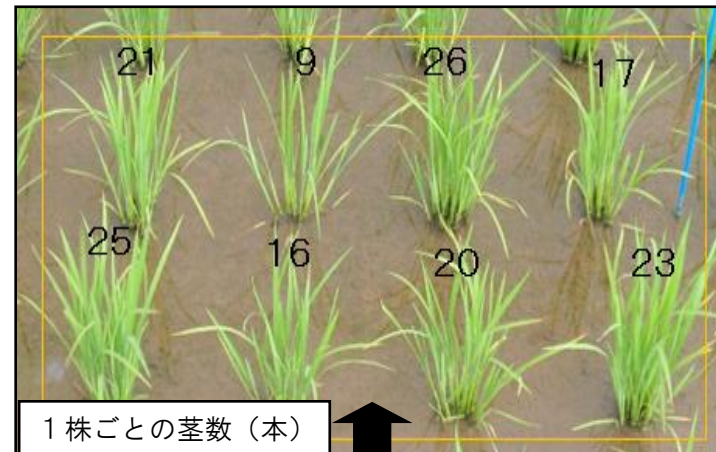
ほ場（土壌）や生育に応じた適期中干し！ 過剰生育防止のブレーキは早めに！！



コシヒカリ中干し開始適期の状態



写真の状態では、すでに中干し開始時期を
過ぎています（平均 20 本/株です）



中干し開始が遅れないよう
注意してください！

1. 中干し・溝切り時期のめやす

- 田植え後30日をめやすに落水し中干しを開始しましょう。
田植時期が遅い場合、本格的な梅雨時期と重なるため、早めに中干しを開始しましょう。
- 中干し程度は、**田面に小ヒビが入る程度**とし、大ヒビの入る強い中干しは避けましょう。
- 中干し期間は2～3週間が目安です。
- 天水田等の用水確保が難しい圃場の場合は、営農センターにご相談ください。

【エコ・5-5 コシヒカリ】注）（ ）内は本/株

地 区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/㎡	中干し開始のめやす		中干し終了 の晩限
			茎数	時期	
栃尾・山古志地区 (60 株/坪)	5月10～20日	320(18)	13 本/株	6月10～15日	7月5日
	5月25日以降			6月20日	7月10日

【エコ・5-5 こしいぶき】注）（ ）内は本/株

地 区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/㎡	中干し開始のめやす		中干し終了 の晩限
			茎数	時期	
栃尾地区 (60 株/坪)	5月5～10日	350(19)	15 本/株	6月10日	6月末

◎こしいぶきは生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始しましょう。

◎地力が高い、排水が悪い、例年倒伏が懸念されるほ場（重粘土壤等）の場合は、上記のめやすより2日程度早く中干しを開始し、早めの溝切りとやや強めの中干しにより籾数過剰の抑制と倒伏防止を図りましょう。

◎砂壤土等の水はけのよい低地力ほ場では、茎数が少ない段階で中干しに入ると穂数確保ができず少収となる場合があるので、目標穂数の8割を確保した段階で中干しに入りましょう。

【コシヒカリ:14～15本/株（50株植え）、こしいぶき：15～16本/株（60株植え）】

2. 中干し・溝切りの効果

- 過剰生育を抑制し、品質向上に役立ちます。
- 倒伏軽減効果があり、品質向上に役立ちます。
- 土壌への酸素供給により根を健全化します。
- 秋のコンバイン収穫作業が可能な地耐力を確保できます。
- 溝切りによりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能となります。
- 溝切りにより秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能となります。

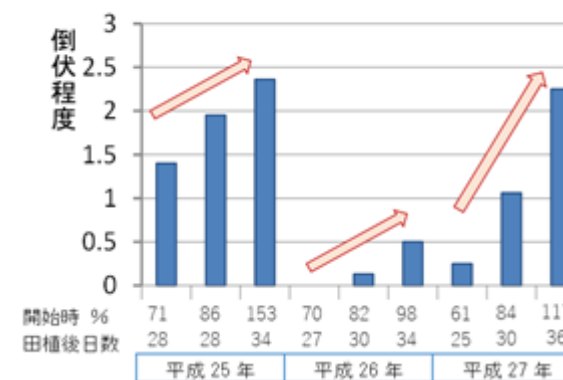
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏が助長されます。

中干しが不十分だと、総籾数が過剰傾向となり、乳心白等の未熟粒や玄米タンパク質含有率は高くなります。特に早生品種の大豆作付後圃場や基盤整備後圃場では生育過剰になりやすいため、早めに中干しを開始し、生育調節を行いましょう。



3. 中干しが遅れた場合の影響

中干し開始が遅くなるほど、成熟期の倒伏程度は大きくなります。



中干し開始時期が遅くなると倒伏が増加する

図 中干し開始時期と成熟期の倒伏（作物研究センター）

※有機50%肥料栽培、平成25～27年。開始時%は目標穂数（350本/㎡）に対する中干し開始時の茎数の比率。田植後日数は中干し開始時

4. 中干し・溝切りの方法と点検

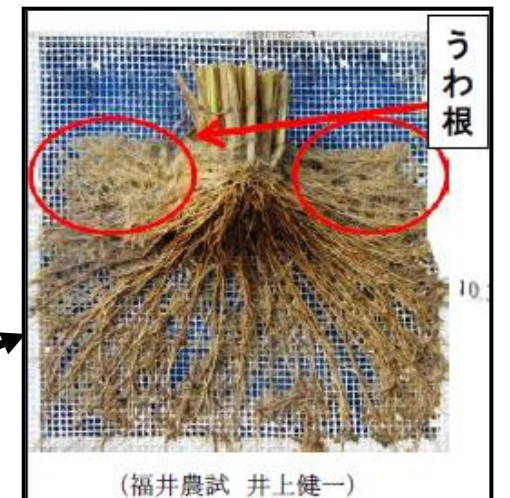
- 中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度まで行います。



大ヒビ状態 ×
ヒビ割れが大きいと、根が切れてしまいます！



小ヒビ中干し ◎



“うわ根”の形成と根の活力維持

穂肥の効果を十分に発揮させる為、“うわ根”を切断しない「小ヒビ中干し」を行いましょう。

- 溝の間隔は2.5m程度、深さは10cm程度を確保し、溝の末端は必ず排水口につなぎます。
- 毎年苦勞するほ場の軟らかい所は、溝の間隔を狭くして溝数を増やすと効果的です。
- 中干し溝の額縁点検（収穫時地耐力確保、高温時の短時間かん水、秋の長雨対策）

※ 天候不順な年ほど効果大！ 溝は、必ず排水口につなぎましょう。

4. ケイ酸肥料の散布

(1) 水稻は、ケイ酸を積極的に吸収する「好ケイ酸植物」です。
健全な稲体づくりに向けてケイ酸肥料を施用しましょう。

◎ケイ酸の吸収は生育前期よりも生育後期の方が多く、最高分げつ期頃で50%、出穂期以降も生育期間全体の30%近くが吸収されます。

(2) ケイ酸肥料の効果

- ①光合成を促進して、品質向上に役立ちます。
- ②耐倒伏性の向上に役立ちます。
- ③籾が丈夫になることで、「ふ割れ」やカメムシ被害の軽減に役立ちます。
- ④ごま葉枯れ病の抑制に役立ちます。
- ⑤高温下での品質低下を防ぎます。

(3) 散布時期

6月末～7月上旬（幼穂形成期前）
※稲がケイ酸を吸収するには水が必要です。ケイ酸肥料を散布の際は、ほ場に水を入れましょう。

(4) 主なケイ酸肥料【令和5年5月現在の税込価格】※表示価格は当用未収配達価格です。

けい酸加里プレミア 34



施用量：20～60 kg/10a
ケイ酸成分：34%
価 格：4,120 円
規 格：20 kg

加里、苦土、ほう素を含むケイ酸肥料

みつパワー



施用量：40～60 kg/10a
ケイ酸成分：25%
価 格：1,320 円
規 格：20 kg

鉄、マンガン等を含むケイ酸肥料

スーパーシリカプレミアム



施用量：20～40 kg/10a
ケイ酸成分：30%
価 格：1,710 円
規 格：20kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

ウォーターシリカ



施用量：15～30 kg/10a
ケイ酸成分：17%
価 格：3,590 円
規 格：15 kg

水口施用が可能な省力型肥料

ニュー米スター



施用量：15～30 kg/10a
ケイ酸成分：32%
価 格：1,630 円
規 格：15 kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

マルチサポートFe



施用量：20～40 kg/10a
ケイ酸成分：12%
価 格：1,710 円
規 格：20 kg

ケイ酸と鉄を主体とした総合微量要素肥料

5. 雑草対策

(1)「クリンチャー・バサグランの上手な使い方」(指導会等で配布)を参考にしましょう！

※栃尾・山古志地区のエコ・5-5 運動参加圃場でクリンチャー（ヒエ剤）を使用する場合は、コシヒカリのみクリンチャーを使用できます。
(但し、“クリンチャーバス ME 液剤”使用の場合、クリンチャー単剤の使用はできません。)
※全地区・全品種のエコ・5-5 運動参加圃場では、バサグランを使用できます。
(栃尾地区ではコシヒカリ以外の品種は“クリンチャーバス ME 液剤”は使用できません。)

(2) クリンチャーバスME液剤

【エコ・5-5 運動参加圃場での注意】

- ①「クリンチャーバス ME 液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグラン単剤での使用はできません。
- ②栃尾地区ではコシヒカリ以外の品種は「クリンチャーバス ME 液剤」は使用できません。

適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		使用方法
		薬量	希釈水量	
水田一年生雑草 ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、オモダカ、 クログワイ等	移植後15日～ ノビエ5葉期 但し、収穫 50日前まで	1000ml	70～ 100ℓ	落水散布又は ごく浅く湛水 して散布

【クリンチャーバスME液剤使用上のポイント】

- ①散布する前に落水状態にして水の出入りをとめる。
落水ができないところではヒタヒタ水の状態で散布して下さい。
- ②散布後は少なくとも3日間（浅水処理では5日間）はそのままの状態を保ち、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水をしないで下さい。
- ③散布後に晴天の続く日を選んで散布して下さい。
- ④展着剤は加用しないで下さい。



(3) 畦畔除草（斑点米カメムシ対策）

カメムシ類を防ぐには、稲の生育期間を通して雑草の穂が出穂しないよう管理することが大切です。特にイネ科雑草、水田内のイヌホタルイは産卵場所であり、種子(穂)はエサでもあるため特に注意しましょう。
除草剤を散布する場合は、畦畔散布に登録がある除草剤を使用し、**農薬ラベルに記載してある使用方法を守って散布して下さい！**

【注意】農道・畦畔で除草剤を散布する際は、必ず風の無い時間帯に飛散防止ノズルを付けて散布し、飛散しないよう十分注意して下さい。

草刈り4つの効果

- ① エサをなくす
- ② すみかをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかかりやすくする



越後ながおか地区の営農情報  の登録はこちら

方法① ID 検索

[友達追加]>[検索]で
@498ihzfy を入力

方法② QRコードを読み取る

[友達追加]>[QRコード]で、
右のQRコードを読み取る。



お問い合わせ先	ながおか営農センター ☎0120-91-5882 とちお営農センター ☎0120-91-5885
---------	--